

1 総会に関する事項

平成24. 5. 23 午後2時50分から日本芸術院会館において第74回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

審議事項	第1号議案	平成23年度事業報告承認の件
	第2号議案	平成23年度決算承認の件
	第3号議案	会員人事報告の件
	第4号議案	選定顧問報告の件
	第5号議案	選定参事報告の件
	第6号議案	選定参与報告の件
	第7号議案	理事・監事の改選承認の件
	第8号議案	選定評議員報告の件
報告事項	第43回日展巡回展開催報告の件 他	

平成24. 7. 19 午後2時から日展会館において臨時総会(第75回総会)を開催し、下記の事項を決定した。

審議事項	第1号議案	新監事の選任承認の件
------	-------	------------

2 常務理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 5. 23	第1回	1. 審査員選任に関する確認事項の件 2. 「展覧会係」選考に関する確認事項の件 3. 出品委嘱者選考に関する確認事項の件 4. 第44回日展開催要綱に関する件

3 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 5. 23	第1回	1. 平成23年度事業報告および決算報告承認の件 2. 会員人事承認の件 3. 選定顧問承認の件 4. 選定参事承認の件 5. 選定参与承認の件 6. 理事・監事の改選の件 7. 選定評議員承認の件 8. 会友人事承認の件

平成24. 5. 23	第2回	9. 第44回日展審査員・係承認の件 10. 第44回日展出品委嘱者承認の件 11. 第44回日展開催要綱承認の件 12. その他 出版委員会委員補充について
平成24. 6. 22	第3回	1. 理事長選定の件 2. 副理事長および常務理事選定の件 (書面理事会)
平成24. 11. 1	第4回	1. 臨時総会開催承認の件 報告事項 第44回日展巡回展に関する報告(開催会場追加承認)の件他
平成25. 3. 21	第5回	1. 新・日展会館(仮称)に関する件 2. 第44回日展巡回展基本選定作品承認の件 3. 第44回日展巡回展陳列指導役員承認の件 1. 平成25年度事業計画書及び収支予算書等に関する件 2. 日展規則の一部変更承認の件 3. 会員人事承認の件 4. 会友人事承認の件 5. 各委員会新委員選考承認の件 6. 第45回日展観覧時間および入場料金承認の件 7. 第45回日展出品手数料承認の件 8. 第45回日展開催要綱に関する件 9. 第45回日展オープニング・パーティー承認の件 10. 第45回日展巡回日程(案)承認の件 11. その他 報告事項

4 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 5. 23	第1回	1. 平成23年度事業報告および決算承認の件

5 評議員協議会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 5. 23	第1回	1. 平成23年度事業報告に関する件 2. 平成23年度決算に関する件 3. 第44回日展出品委嘱者承認の件 4. 第44回日展開催要綱承認の件 5. 会員人事に関する件 6. 選定顧問・選定参事・選定参与に関する件

		7. 理事・監事の改選に関する件 8. 選定評議員に関する件 9. 新会友に関する件
--	--	--

6 審査員選任委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 5. 23	第 1 回	1. 第44回日展審査員選任承認の件 2. 第44回日展係選考承認の件 3. 第44回日展出品委嘱者承認の件 4. 第44回日展開催要綱に関する件

7 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 6. 13	第 1 回	1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金承認の件 3. 特別入場券販売促進に関する件 4. 「日展目録」表紙承認の件 5. 入場券原画承認の件 6. 招待状・資格証・優待証承認の件 7. 各科審査員打合せ会承認の件 8. 係アシスト承認の件 9. 出品者懇親会承認の件 10. 事務日程に関する件 11. その他

8 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 10. 10	第 1 回	1. 各科審査主任承認の件 2. 審査方針承認の件

9 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 11. 1	第 1 回	1. 内閣総理大臣賞 2点承認の件 2. 文部科学大臣賞 3点承認の件

10 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 11. 1	第 1 回	1. 日展会員賞 5点承認の件

11 巡回日展打合せ会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成24. 11. 22	第 1 回	1. 第44回日展巡回展開催要綱等報告の件（開催者との打合せ会）

12 委員会等に関する事項

委員の就退任に関する事項

平成25. 3. 21 平成24年度第5回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(平成25～26年度委員)

〔日展ニュース委員会〕

岸野圭作 村居正之 高梨芳実 根岸右司 石黒光二 柴田良貴
原 典生 藤田 仁 市澤静山 高木厚人

〔出版委員会〕

山崎啓次 市原義之 池田良則 松田 茂 堤 直美 堀内秀雄
井隼慶人 加藤令吉 今村桂山 角元正燦

〔広報委員会〕

坂根克介 東 俊行 小灘一紀 斎藤秀夫 江里敏明 西村祐一
並木恒延 三田村有純 田中節山 真神巍堂

日展運営実行委員会

平成24年度における会合は2回開催

(第1回)平24. 9. 20・(第2回) 平25. 2. 20

主な審議事項

1. 日展規則における審査員の選任方法の規定について検討した。(第1回)
2. 新・日展会館(仮称)の正式名称の候補を検討、決定した。(第1回)
3. 新・日展会館(仮称)の開館記念企画展について検討した。(第1回)
4. 新・日展会館(仮称)の施設利用料金(貸出料金)について検討、決定した。(第1回)
5. 平成25年のスケジュールについて確認を行った。(第2回)
6. 日展新会館オープン記念企画展について、展覧会の内容及び名称を検討、決定した。また、日展会館及び日展新会館の今後のスケジュールと日展会館において開催する「所蔵作品展シリーズ」の企画内容について確認した。(第2回)
7. 日展規則における審査員の選任方法の規定について検討し、変更案を決定した。(第2回)
8. 理事の定数について意見交換を行った。(第2回)

日展ニュース委員会

平成24年度における会合は6回開催

(第1回)平24. 4. 13・(第2回) 8. 2・(第3回) 11. 23・(第4回) 12. 6・(第5回) 平25. 1. 17・

(第6回)平25. 2. 8

主な審議事項

1. ニュース145号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース145・146号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 新企画(全国各地の日展関係者の個人美術館の紹介記事をシリーズとして掲載)を検討、決定した。(第1回・第2回)
4. ニュース146号の寄稿文(三浦朱門芸術院長/美術評論家5名/原則として各科係主任及び新審査員1名 計16名)の校正を行った。(第2回)
5. ニュース147号の座談会のテーマ(「第44回日展審査を終えて―魅力ある日展に向けて―」)を決定し、出席者の人選等を検討した。(第2回)
6. ニュース147号の座談会を開催し、編集企画を検討、決定した。(第3回)
7. ニュース147号(座談会)の校正を行った。(第4回)
8. ニュース148号の掲載内容について検討した。(第4回・第5回)
9. ニュース148号より新たに掲載する日展関係者の個人美術館の紹介記事について、掲載美術館、原稿執筆者及び企画タイトルを検討、決定した。(第5回)
10. ニュース148号の寄稿文(各科新入選者3名 計15名)の校正を行った。(第6回)
11. 「日展ゆかりの美術館散策」原稿の校正を行うとともに、ロゴタイトル、レイアウト案等を検討、決定した。(第6回)
12. ニュース148・149号の掲載内容を検討、決定した。(第6回)

出版委員会

平成24年度における会合は2回開催

(第1回)平24. 7. 19・(第2回) 11. 1

主な審議事項

1. 第44回日展刊行物の表紙作家を決定した。(第1回)
2. 「日展アートガイド」の部門別解説文執筆者を選考した。(第1回)

3. 第44回日展刊行物の発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
4. 「日展アートコレクション」の刊行計画および内容を協議した。(第1回)
5. 日展カレンダー(2013年版)の内容を決定した。(第1回)
6. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
7. 「日展アートガイド」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
8. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
9. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
10. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
11. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
12. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)

広 報 委 員 会

平成24年度における会合は6回開催

(第1回)平24. 4. 12・(第2回) 5. 16・(第3回) 6. 13・(第4回) 9. 18・(第5回)平25. 2. 20
(第6回)平25. 3. 29

主な審議事項

1. 3社による第44回日展告知キャンペーンのプレゼンテーションを行い、広告代理店を決定した。(第1回)
2. 第44回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第2回)
3. 第44回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第3回)
4. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第2回・第3回)
5. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
6. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第4回)
7. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第2回)
8. 講演会・映像による作品解説について検討した。(第2回・第3回)
9. シンポジウムについて検討した(第2回・第3回)
10. 第44回日展の企画案について検討した。(第1回)
11. 平成24年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第5回)
12. 平成24年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第6回)
13. 「鑑賞プロジェクトチーム」の平成24年度の活動内容を報告および要望事項について検討した。(第5回)
14. 第45回日展の各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第5回・第6回)

○「鑑賞プロジェクトチーム」平成24年度における会合は2回開催

(第1回)平24. 5. 10・(第2回) 12. 8 (※代表者)

主な審議事項

1. 平成24年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、親子鑑賞教室、スクールプログラム等)を検討した。(第1回)
2. 平成24年度の反省点を基に、要望事項をまとめた。(第2回)

13 「日本美術展覧会」の開催

第44回日本美術展覧会

1. 会 期 平成24年11月2日より12月9日まで 33日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

11月12日(月)は「日展の日」 入場無料

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	564	2,158	175	850	10,385	14,132
入選点数	209	635	119	486	974	2,423
新入選点数	27	81	13	37	157	315

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	209	635	119	486	974	2,423
無 鑑 査	144	137	157	139	143	720
計	353	772	276	625	1,117	3,143

無鑑査＝会長・顧問・役員・会員・新審査員・出品委嘱者・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 中山 忠彦

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	◎岩倉 寿 福田 千恵 北野 治男 那須 勝哉 東 俊行 三輪 晃久 米谷 清和 内海 泰 坂本 幸重 鹿見 喜陌 高増 暁子 瀧川 真人 袴田規知代 片山 宏 西田幸一郎 間瀬 静江 水野 収	◎塗師祥一郎 藤森 兼明 三沢 忠 池田 良則 佐藤 哲 櫻田 久美 樋口 洋 大谷 喜男 町田 博文 丸山 勉 菊池 元男 栗原 高光 桑原 富一 西田 伸一 武藤 初雄 柳瀬 俊泰 李 暁剛	◎中村 晋也 市村 緑郎 山本 眞輔 柴田 篤男 平原 孝明 青山 三郎 竹谷 邦夫 成富 宏 野間口 泉 早川 高師 原田 治展 平戸 司郎 片山 博詞 亀淵 元昭 大丸 敏 野原 昌代	◎奥田小由女 伊藤 裕司 今井 政之 森野 泰明 磯野 清夫 加藤 令吉 佐治ヒロシ 高橋 貞夫 寺池 静人 藤田 仁 武腰 一憲 鶴見 保次 若山 裕昭 上森 四郎 栗本 雅子 田中 照一 田中 紀子	◎新井 光風 井茂 圭洞 杭迫 柏樹 貞政 少登 海野 濤山 江口 大象 河野 隆 高木 厚人 土橋 靖子 真神 巍堂 岩永 栖邨 大澤 城山 大平 匡昭 西村 東軒 森嶋 隆鳳 森田 彦七 山根 互清

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	○北野 治男 那須 勝哉 東 俊行 三輪 晃久 米谷 清和 内海 泰 坂本 幸重 鹿見 喜陌 高増 暁子 瀧川 真人 袴田規知代 片山 宏 西田幸一郎 間瀬 静江 水野 収	池田 良則 ○佐藤 哲 櫻田 久美 樋口 洋 大谷 喜男 町田 博文 丸山 勉 菊池 元男 栗原 高光 桑原 富一 西田 伸一 武藤 初雄 柳瀬 俊泰 李 暁剛	○柴田 篤男 平原 孝明 青山 三郎 竹谷 邦夫 成富 宏 早川 高師 原田 治展 平戸 司郎 片山 博詞 亀淵 元昭 大丸 敏 野原 昌代	磯野 清夫 加藤 令吉 佐治ヒロシ 高橋 貞夫 寺池 静人 ○藤田 仁 武腰 一憲 鶴見 保次 若山 裕昭 上森 四郎 栗本 雅子 田中 照一 田中 紀子	○井茂 圭洞 杭迫 柏樹 貞政 少登 海野 濤山 江口 大象 河野 隆 高木 厚人 土橋 靖子 真神 巍堂 岩永 栖邨 大澤 城山 大平 匡昭 西村 東軒 森嶋 隆鳳 森田 彦七 山根 互清

6. 授 賞

大臣賞	第1科	内閣総理大臣賞	市原 義之	耀
	第2科	内閣総理大臣賞	樋口 洋	白い函館
	第3科	文部科学大臣賞	山田 朝彦	こもれび
	第4科	文部科学大臣賞	亀井 勝	風物語「過ぎゆく…」
	第5科	文部科学大臣賞	今村 桂山	竹里館

日展会員賞	第1科	袴田規知代	或る日
	第2科	歳嶋洋一朗	運河の朝 (ヴェニス)
	第3科	上田 久利	耳をすまして一枇杷の実がうれるころ一
	第4科	永澤 永信	驟雨沛然
	第5科	中村 伸夫	鄭義下碑語

特 選

第1科	青田 賢蔵	棲 む	朝倉 隆文	消失スル境界線
	大西 健太	EARTH	加村 光子	春の雪
	國井たか子	十一月蔓からむ	桑野むつ子	夢の溜り
	佐藤和歌子	角の門	長谷部貞子	視 る
	丸山 勉	時の隙間	米田 実	未知の遥睨
第2科	浅見 文紀	化 身	阿部 良広	Caribbean Blueを聴きながら
	児島新太郎	夜 想	児玉 健二	朝の光
	佐藤 龍人	画 室	柴田 仁士	母の調べ
	橘 貴紀	亜 也	日野 功	川辺の暮らし
	松野 行	峠を行く	山田 郁子	やすらぎ
第3科	植田 努	ケサリアの牛飼い	上田 ふみ	風がふいている
	岡山 千秋	大地に立って	小関 良太	陽 光
	梶川俊一郎	あぜ道	神谷 睦代	洋 洋
	白石 恵里	弦 響	高野 真悟	空へ…
	外山 良治	明日へ	野添 浩一	明日へ
第4科	小倉 敏江	昂	片山 雅美	赤器「浮遊」
	日下部雅生	月しろに漂う	小林 祥晃	風 光
	桜田 知文	いのち(たびだち)	十二町 薫	春秋のうつろい
	杉原外喜子	連 XI	馬場九洲夫	遙かな嶺
	林 香君	-祈りのかたち-第二楽章	前田 和伸	隆 風
第5科	明石 聰濤	嵇康詩	岩村 節廬	荀子語
	大橋 洋之	鄧文原詩	川崎 大開	村上佛山詩
	木村 通子	ひぐらし	澤田 虚遊	松 毬
	中村 史朗	杜甫詩	野田 杏苑	萬葉集より
	平形 精逸	寒山詩	吉澤 劉石	桃 李

7. 入場者数 合計163,460人

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	10,713	招 待 券	59,733
学 生 券	670	美 術 学 生 券	847
トワイライトチケット (一 般)	4,561	小中学生無料鑑賞券	7,359
トワイライトチケット (学 生)	456	資 格 証	23,781
一 般 券 (場 外 売)	4,473	優 待 証	3,117
一 般 団 体 券	6,827	美術家連盟・評論家連盟	1,213
学生団体[高・大]券	1,228		
一 般 前 売 券	2,748		
学生前売[高・大]券	85		
特 別 入 場 券	22,038		
新聞販売店用チケット	13,611		
計	67,410	計	96,050

巡 回 日 展

第43回展分を4会場、第44回展分を3会場、計7会場で開催。

	開催地	開催期間	会 場	開 催 者	入場者数(人)
第 43 回 展	福 岡	H24. 3. 29～H24. 4. 15	福 岡 市 美 術 館	西 日 本 新 聞 社	21,360
	松 江	4. 21～ 5. 13	島 根 県 立 美 術 館	山 陰 中 央 新 報 社	29,800
	金 沢	5. 19～ 6. 10	石 川 県 立 美 術 館	北 國 新 聞 社	45,768
	福 井	6. 23～ 7. 16	福 井 県 立 美 術 館	福 井 新 聞 社	17,316
第 44 回 展	京 都	H24. 12. 15～H25. 1. 20	京 都 市 美 術 館	京 都 市 美 術 館 京 都 新 聞 社	37,375
	名 古 屋	H25. 1. 25～ 2. 11	愛知県美術館ギャラリー	中 日 新 聞 社	72,531
	大 阪	2. 23～ 3. 17	大 阪 市 立 美 術 館	大 阪 市 立 美 術 館 読 売 新 聞 大 阪 本 社	64,796

14 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・映像による作品解説

美術評論家が「日展」の各部門について語る。また、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

	講演会		映像による作品解説	
11月 3日 (土・祝)	午後 1:30～ 2:10	「日展の日本画」 京都市美術館学芸課長 尾崎真人 氏	午後 2:20～ 3:20	「日本画」 鹿見喜陌 瀧川真人
11月 4日 (日)	午後 1:30～ 2:10	「日展の洋画」 美術評論家 武田 厚 氏	午後 2:20～ 3:20	「洋画」 佐藤 哲 櫻田久美
11月10日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の彫刻」 大阪成蹊大学教授 太田垣 實 氏	午後 2:20～ 3:20	「彫刻」 木代喜司 柴田篤男 竹谷邦夫
11月17日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の工芸美術」 秋田公立美術工芸短期大学 学長 樋田豊次郎 氏	午後 2:20～ 3:20	「工芸美術」 磯野清夫 加藤令吉 寺池静人 若山裕昭
11月23日 (金・祝)	午後 1:30～ 2:10	「日展の書」 書道文化研究家 西嶋慎一 氏	午後 2:20～ 3:20	「書」 海野濤山 江口大象 高木厚人
11月24日 (土)			午後 1:30～ 2:30 2:40～ 3:40	「日本画」 米谷清和 坂本幸重 「洋画」 三沢 忠 樋口 洋
12月 1日 (土)			午後 1:30～ 2:30 2:40～ 3:40	「彫刻」 西村祐一 原田治展 野原昌代 「書」 河野 隆 土橋靖子 真神巍堂
12月 2日 (日)			午後 1:30～ 2:30	「工芸美術」 佐治ヒロシ 高橋貞夫 武腰一憲 鶴見保次

○上記の他、11月12日(月)「日展の日」にシンポジウムを開催した。

- ・基調講演 午後1時30分～2時
美術評論家 瀧 悌三氏
- ・シンポジウム 午後2時10分～3時20分
パネリスト 瀧 悌三氏 中山忠彦 寺坂公雄 奥田小由女
司会進行 宮田亮平

※総参加人数 2,634名 (シンポジウム含む)

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と1歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	昼食	書	工芸美術	彫刻
	午前11:00～	午前11:45～	午後0:30～	午後2:00～	午後2:45～	午後3:30～
11月5日 (月)	間瀬静江	成田禎介		鈴木春朝	上森四郎	山田朝彦
11月19日 (月)	市原義之	樋口 洋		河野 隆	田中照一	江里敏明
11月26日 (月)	由里本 出	桐生照子		角元正燦	田中紀子	銭亀賢治
12月3日 (月)	東 俊行※	吉崎道治		山本大悦※	栗本雅子	平戸司郎

※事情により日本画と書の順を入れかえた

◆参加人数・・・39名（会期中の月曜日4日間、全4回）

〃（特別編※団体向け）・・・15名（11/16）

○上記プログラムの他に、団体との共同企画により以下の日程で鑑賞会を実施した。

主催 全日空社友会 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	午前11:00～	午後0:30～	午後1:40～
11月16日 (金)	森脇正人 (日本画)	昼食	(自由鑑賞)

※総参加人数 15名

ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 第44回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日、11月12日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・1,049名参加（18日間）

15 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

アートスクール

イベントスペースを利用し、「日展アートスクール」を下記日程で開講。(有料)

指導：谷口勇三(日展会友)

- ① 日展アートスクール15 「はじめての陶芸」
平成24年4月～6月 合計6回開講
- ② 日展アートスクール16 「はじめての陶芸」
平成24年7月～9月 合計6回開講
- ③ 日展アートスクール17 「はじめての陶芸」
平成25年1月～3月 合計6回開講

親子鑑賞教室

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

後援 心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月11日 (日)	午前 10:30～	岡江 伸 西田幸一郎 南 聡	歳嶋洋一朗 丸山 勉 渡邊 明 前原喜好			高木聖雨 高木厚人 遠藤 彊
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 中村優子 (指導) 山田朝彦 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 原田治展 村山 哲 野原昌代 寺山三佳 中原篤徳 吉岡 徹	三田村有純 中島敦子 (サポート) 中村武郎 相武常雄 河野榮一 繁昌孝二 川口 満 武田 司 山口和子	

11月18日 (日)	午前 10:30～	澤野慎平 片山 宏 大西守博	天野富美男 田辺知治 菊池元男			牛窪梧十 師田久子 綿引滔天
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 宇津孝志 (指導) 山田朝彦 山崎茂樹 中村優子 (サポート) 小野啓亘 谷口淳一 村山 哲 片山博詞 野原昌代 田丸 稔 吉岡 徹	加藤令吉 谷口勇三 (サポート) 槐 和男 井上英基 谷口直之	
11月25日 (日)	午前 10:30～	長谷川雅也 水野 収 吉田千恵※1	井上 武 倉林愛二郎 栗原高光			清水透石 海野濤山 和中簡堂※2
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 中原篤徳 (指導) 山田朝彦 堀内秀雄 中村優子 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 村山 哲 野原昌代 寺山三佳 吉岡 徹	内藤英治 田中紀子 (サポート) 相武常雄 出居麻美 広沢麗子 平井恵子 吉川真理	

◎総参加人数 115 組 302 名

※1 吉田千恵氏は急病のため、亀山祐介氏が代行した。

※2 和中簡堂氏は急用のため、5名のサポート作家で行った。

夏休み1日ART体験「第8回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—
という日展の芸術文化普及活動。

今回は制作した作品を鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月22日から8月26日まで日
展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの人が訪れた。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会 心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月26日 (木)	工芸美術 (陶芸)	加藤令吉 谷口勇三	13:00～ 16:30 ※希望者多数のため 10:00～12:00 14:00～16:30 の2回実施した	57組 88名 (30組50名・27組38名)	・「灯りの陶」 ●陶芸に関する基礎知識。 ●陶器用の粘土で、基本的な技法を学びながら造形。 参考作品の中に電球を入れ、出来上がりをイメージ。 ●作品は、(後日)乾燥後釉薬をかけ、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。
7月27日 (金)	工芸美術 (金属)	相武常雄 中村武郎 藤田 仁 古見準士	13:00～ 16:00	41組 55名	・「時を打つ」 ●告知時より画像イメージ作品提示し、参加者には予め出来上がりのイメージを描いてきてもらう。 ●鍛金、彫金、鍍金など、金属を使った表現の方法を説明。 ●金属(種類によって違う色も利用)の帯板を使って時計の土台をつくる。たたく、曲げる、組み合わせる、とめるなどで成形、最後に時計の文字盤をつける。 ●講評。
7月29日 (日)	洋画	成田禎介 田辺知治 茅野吉孝 松井 亨	10:30～ 16:00	53組 75名	・「夢」(油彩・水彩) ●午前は4号のキャンバスを使い、人物(モデル)を木炭でスケッチ。油彩で描いてみる。 ●午後は水彩で共同制作。黒と白のキャンバスを用意。テーマの『夢』の世界を描いていく。 ●作家のデモンストレーション ●油彩画の特徴 ※油絵具の使い方 ●水彩画の特徴 ※水彩絵具の使い方。 ●描きあがった作品にサインを入れる。講評。
7月30日 (月)	彫刻	山田朝彦 中村優子 堀内秀雄 山崎茂樹	13:00～ 16:00	39組 56名	・「未来の僕・未来の私」—3Dに挑戦— ●彫刻に関する基礎知識。 ●(子供)木の土台と石膏、紙粘土による制作 「未来の自分」をイメージして作る。台座と心棒の間に、風船と針金で形をつくった石膏の造形を固定。その上にアルミ線の心棒と紙粘土の「未来の自分」をジョイントさせる。 ●3D表現を意識させる。 ●講評。 (保護者)約10cm位の我が子の横顔のレリーフ ●作品は、乾燥させて固めた後、焼成、額装する。
8月7日 (火)	日本画	松崎十朗 川田恭子 能島浜江 岩田壮平 野田夕希	11:00～ 16:30	41組 57名	・「金箔・銀箔で日本画に挑戦！」 ●うちわの作品例を見せながら特徴を説明。 ●画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法に関する知識。 ●共同制作は『海』がテーマ。大きな麻紙に、作家が描いた『海』のモチーフに加えてそれぞれの『海』の世界を描いていく。岩絵具の他、顔彩などを使用。 ●工程と乾燥の時間を考慮し、昼食をはさんだ午前午後の制作。 予めドーサをひいた桐のうちわを用意。 1人1枚ずつ金箔を貼る。その上から岩絵具で絵を描き、銀の砂子を散らす。岩絵具、顔彩を使用。 ●作家のデモンストレーション ●自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ●金箔・銀箔の特徴を体感する。 ●実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。
8月9日 (木)	書	師田久子 大平匡昭 遠藤 疆	13:00～ 16:00	31組 45名	・「夏」 ●書に関する基礎知識。 ●書く文字を決めて半紙で練習。明かりが透ける白いランプに文字を書く。自分で彫った印を押す。 いろいろな筆、彩墨の組み合わせや墨の濃淡を試してみる。 ●大きい紙(全紙)に大きな筆で大字を書いてみる。 ●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。 ●講評。

◎総参加人数 262 組 376 名

16 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（平成24年度中に刊行または印刷）

第44回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）56頁
[発行日] 平成24年11月2日
[発行部数] 12,000部
[定 価] 200円 [税込]
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由(大臣賞・会員賞・特選)等諸資料収録
[表 紙] 村田省蔵

第44回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）226頁 600点掲載
[発行日] 平成24年11月2日
[発行部数] 6,800部
[定 価] 3,000円 [税込]
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
[表 紙] 中山忠彦（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展アートガイド ―作家のことば―

- [判 型] A5判変型（タテ22cm×ヨコ15cm）216頁 374点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 7,500部
[定 価] 1,000円 [税込]
[内 容] ■会長・顧問・理事・監事・参事・参与・評議員・審査員・受賞者の出品作品を
オールカラーで収録、作家本人による作品解説付
■部門別解説 日本画―尾崎眞人氏、洋画―南郷 宏氏、彫刻―田中晴久氏、
工芸美術―松原龍一氏、書―菅原教夫氏
■授賞理由（大臣賞・会員賞・特選）、材質表記（彫刻）、技法説明および各作
品の技法表記（工芸美術）、作品の類別とその特質解説および釈文（書）、巡
回展日程等資料、作家索引を掲載
[表 紙] 鈴木竹柏（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）80頁 353点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 3,600部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名(読み仮名付)、
作品寸法、審査所感、授賞理由(大臣賞・会員賞)、諸資料掲載
[表 紙] 土屋禮一（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）154頁 772点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 7,200部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、
作品寸法、審査所感、授賞理由（大臣賞・会員賞）、諸資料掲載
[表 紙] 塗師祥一郎（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）72頁 276点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 1,100部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、
作品寸法、審査所感、授賞理由（大臣賞・会員賞）、諸資料掲載
[表 紙] 雨宮敬子（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）132頁 625点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 2,500部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、
作品寸法、技法表記、審査所感、授賞理由（大臣賞・会員賞）、諸資料掲載
[表 紙] 中井貞次（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第44回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）196頁 カラー168点、モノクロ949点、
合計1,117点掲載
[発行日] 平成24年11月7日
[発行部数] 4,100部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 書部門の全陳列作品を会員以上と新審査員はカラー、てん刻は朱色、他はモノク
ロで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、作品寸法、審査所感、授賞理由（大
臣賞・会員賞）、諸資料掲載
[表 紙] 古谷蒼韻（出品作）
[製 作] 富士美術印刷株式会社

NITTEN ART COLLECTION 11（日展アートコレクション 第11集）

- [判 型] A4判変型（タテ20cm×ヨコ22cm）104頁 94点掲載
[発行日] 平成25年3月27日
[発行部数] 1,500部

[定 価] 1,500円 [税込]
[内 容] 女性作家(会員および出品委嘱者)の作品をオールカラーで掲載
[表 紙] 奥田小由女(工芸美術・第41回) / 雨宮敬子(彫刻・第25回)
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

日展カレンダー(2013年版)

[判 型] B3判(タテ51.5cm×ヨコ36.4cm) 壁掛けタイプ 14枚綴り
[発行日] 平成24年10月15日
[発行部数] 1,100部
[定 価] 2,000円 [税込]
[内 容] 各月1作品掲載
表紙:奥田小由女 1月:川崎春彦 2月:村田省蔵 3月:日比野光鳳 4月:鈴木竹柏
5月:中路融人 6月:岩倉 寿 7月:市村緑郎 8月:平松 譲 9月:中山忠彦
10月:奥田小由女 11月:寺坂公雄 12月:塗師祥一郎
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき

[判 型] はがきサイズ(10.5cm×15cm)
[定 価] 500枚単位—27,000円[税込] (売店販売定価1枚—100円[税込])
[製 作] 有限会社旭プロセス製版、有限会社藝林社、ニューカラー写真印刷株式会社、
野崎印刷紙業株式会社、富士美術印刷株式会社、日展

カラー写真

[判 型] 2Eサイズ(10.7cm×15.3cm)
[定 価] 10枚単位—6,000円[税込] (売店販売定価1枚—350円[税込])
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

白黒写真

[判 型] はがきサイズ(10.5cm×14.5cm)
[定 価] 20枚単位—6,000円[税込] (売店販売定価1枚—350円[税込])
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

日展ニュースの発行

第145号	平成24年 6月18日発行	発行部数	24,000部
第146号	平成24年 9月 5日発行	発行部数	40,000部
第147号	平成24年12月25日発行	発行部数	30,000部
第148号	平成25年 3月18日発行	発行部数	24,000部

17 美術に関する研究及び調査

日展会館・日展新会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

名 称	内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
熊沢印刷工芸スクリーン 印刷50年展	スクリーン印刷作品を展示	平成24年 4月23日～4月28日 日展会館	583
活版凸凹フェスタ2012	活字版印刷に関連する作品 等を展示	5月3日～5月6日 日展会館	1,022
第35回「ルソーの会・土筆 の会」合同展	絵画約20点を展示	5月19日～5月21日 日展会館	21
工芸新樹会役員展	工芸作品(平面・立体)約30 点を展示	6月4日～6月10日 日展会館	121
第26回東匠会展	油彩画を中心に約40点を展 示	6月16日～6月23日 日展会館	140
第31回DAAJ展	絵画・写真・陶芸作品約50 点を展示	10月6日～10月11日 日展会館	189
第24回 JGSボタニカルアート展	ボタニカルアートの絵画 約230点を展示	10月19日～10月21日 日展会館	901
第19回獏の会	油彩・水彩・パステル画約50 点を展示	平成25年 2月24日～3月2日 日展会館	277
大塚きもの・テキスタイル 専門学校デザイン総合 科工芸染織コース卒業制 作展・OB展	卒業制作ほか約20点を展示	3月6日～3月10日 日展会館	108
薬本武則個展2013	油彩画約10点を展示	3月24日～3月30日 日展会館	122

(会議・研究会)

藍の会
現代水墨画協会
光風会・風の会
新極美術協会
全国水墨画美術協会
太陽美術協会
東京書道会

東陶会
 永井画廊
 日本新工芸家連盟関東地区会
 白日会
 墨華書道研究会
 ヤマハ発動機スポーツ振興財団

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
—日展新会館オープン記念— 日展代表作家展2013	日展出品作品ほか合計33点を展示	平成25年 3月21日～4月21日 日展新会館	972
—所蔵作品展シリーズ33— 平成24年度新収蔵作品展	合計17点を展示	3月24日～4月14日 日展会館	285